

第6章 環境・自然 第1節 環境との共生

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
管財課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予算の範囲内で効率的に低公害車の導入を進めた。	H30年度に改善した点	有	無			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	9,779千円	8,211千円	① 導入台数	低公害車導入率	目標設定の考え方・根拠 公用車の低公害車への入替えが100%となるまでは、新車の更新を定期的に行うことが必要である。				H30年度に改善した点					
	低公害車導入事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	② 導入実績						実績			H29年度目標	H29実績	特になし
		事業の目的及び具体的な内容	9,165千円	6,413千円	③ 導入率									H30年度目標	H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30目標値が未達成の理由・分析	特になし									
	H13~	所沢市自動車管理規定 マチごとエコタウン推進計画 埼玉県地球温暖化対策推進条例	0.63人	非常勤特別職 0.00人	① 7台	83.0%	90.0%	評価者			管財課長 浅見 仙隆					
	良好な環境を将来の世代に引き継ぐことを目的としている埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、大気汚染防止の観点から低公害車の導入を進めている。	5,346千円	臨時職員 0.00人	② 133台	91.0%	96.0%	環境政策課長 安藤 善雄									
		0.63人	非常勤特別職 0.00人	③ 96.3%	R元年度目標											
		5,279千円	臨時職員 0.00人		97.0%											
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標である、「市域における温室効果ガス排出量の削減率」は年度目標の達成には至っていない。なお、電気排出係数を固定して、排出量の変化を部門別にみると、産業部門、民生家庭部門、民生業務部門は基準年度より減少している。今までの家庭向けの省エネ創エネに係る各種対策等に対して、一定の効果があつたと考えられるが、本事業については、継続的に実施していく必要がある。	H30年度に改善した点	有	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	590千円	636千円	①エコライフデーの参加人数	市域における温室効果ガス排出量の削減率	目標設定の考え方・根拠 民生家庭部門からの温室効果ガス排出量の削減が当該事業の目的であるため、同部門を含む、市域全体の温室効果ガス排出量の削減率(平成19年度が基準)を指標とする。				H30年度に改善した点					
	温暖化対策事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②環境講演会の参加人数						H29年度目標			H29実績	各種啓発イベントにおいて、他課との共催や、事業者等とも協力しながら実施し、参加者数の増加を図った。エコライフデーについては、職員向けにシステム環境を活用したアンケートでも回答出来るようにしたこと、参加者数が大幅に増加した。	
		事業の目的及び具体的な内容	1,648千円	744千円	実績						H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①36,129人	3.07%	2.03%	引き続き、市域における温室効果ガス排出量の削減に向け、市民レベルでの環境配慮行動の実践を促すため、ナッジなどの手法を参考にしつつ、効果的な普及啓発事業を実施する。								
	H17年度~	地球温暖化の防止に向け、市域において最も排出割合が高い民生・家庭部門に係る排出量を削減することを目的として、我々のライフスタイルを見直すきっかけづくりに各種の展示会・イベントの啓発事業等を実施する。(事業内容:環境展示会、トコエコグリーンキャンペーン、ライトダウンイベント、冬のエコライフデー、エコドライブ講習会など)	1.36人	非常勤特別職 0.00人	②293人	3.8%	集計中	環境政策課長 安藤 善雄								
		11,540千円	臨時職員 0.10人		R元年度目標											
		1.40人	非常勤特別職 0.00人		2013年度比7.6%											
		11,732千円	臨時職員 0.10人													
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	・子どもエコクラブについては、登録者数が前年度よりも増加(702人⇒977人)している。 ・地球にやさしい学校大賞の調書からは、どの学校もその地域特性を生かした取組実践をしていることが伺えるものである。	H30年度に改善した点	有	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,258千円	1,000千円	①環境学習出前講座受講者数	環境学習出前講座の受講者数	目標設定の考え方・根拠 環境学習出前講座の開催において、一定数以上の受講者数を旨とするにより、環境学習を推進する。				H30年度に改善した点					
	環境学習推進事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②子どもエコクラブ登録者数(サポーター数除く)						H29年度目標			H29実績	環境の出前講座については、今後も幅広い年代に積極的に講座を開催していく。審議会や市民アンケート等での意見が多かった、学校での環境学習の推進について、取り組みを強化していく。	
		事業の目的及び具体的な内容	818千円	596千円	③地球にやさしい学校大賞取組の評価の合計平均点(216点満点)						H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①103人	100人	124人	環境の出前講座については、今後も幅広い年代に積極的に講座を開催していく。審議会や市民アンケート等での意見が多かった、学校での環境学習の推進について、取り組みを強化していく。								
	平成15年度~	主に子ども達の自主的な環境学習や環境保全活動を促進し、環境を大切にすることを目的に、子どもエコクラブの活動支援や、地球にやさしい学校大賞の実施、出前講座の開催などの事業を行う。	0.74人	非常勤特別職 0.00人	②977人	100人	103人	環境政策課長 安藤 善雄								
		6,279千円	臨時職員 0.00人	③138点	R元年度目標											
		1.20人	非常勤特別職 0.00人		100人											
		10,056千円	臨時職員 0.00人													
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成30年10月10日~12日の日程で、欧州連合・日本都市間交流会議に出席し、気候変動適応策に関する基調講演や他都市の状況報告を受けた。また、10月15日~17日にかけて、プラチスラバ市にてスタディツアー・意見交換会を実施し、実行計画のおおまかな方向性について確認できたため。	H30年度に改善した点	有	無			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	ベアリング相手であるプラチスラバ市との、共通テーマによる交流・意見交換。	ローカル・アクション・プラン(実行計画)の策定	目標設定の考え方・根拠 連携テーマに則り、連携先の都市やEUの環境先進国の好取組事例を学び、当市の将来を見据えたローカル・アクション・プラン(実行計画)を策定し、持続可能なまちづくりのための総合的な施策につなげるため。				H30年度に改善した点					
	国際都市間協力プロジェクト推進事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	連携テーマの決定						H29年度目標			H29実績	前年度は事業なし。	
		事業の目的及び具体的な内容	1,603千円	387千円	①気候変動適応策						H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
		期間	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	②都市における自然に根差した課題解決策及びスマートエコシティづくり	実行計画の検討	実行計画の検討	実行計画の共通目標を確認できたため、当市の目指すべき将来像を見据えて、総合的かつ具体的な施策を策定していく必要がある。								
	H30年度~	欧州連合(EU)が実施する国際都市間協力事業であり、取組分野、課題を定め、相互訪問、会議、セミナー等を通じて問題解決のための取組や成功事例を学び合うことにより、国際協力を深めるとともに持続可能なまちづくりのための総合的な施策の推進につなげる。	0.00人	非常勤特別職 0.00人		R元年度目標		環境政策課長 安藤 善雄								
		0千円	臨時職員 0.00人													
		1.55人	非常勤特別職 0.00人													
		12,989千円	臨時職員 0.00人													

第6章 環境・自然 第1節 環境との共生

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標は達成しており継続的な成果が得られているが、今後もより多くの市民が参加できるよう、工夫が必要である。	H30年度に改善した点	有	有		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	6,724千円	6,544千円	①ごみ回収実績 ②参加人数	環境美化活動における参加人数	世帯数×3割×1回 (春・秋いずれかで3割の世帯から一人は参加してもらいたいという考えによる)	現状のとおり							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①ごみ回収実績							H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動実施要領	7,182千円	6,544千円	②参加人数	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合				実績			H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	市民参加による市内全域での環境美化清掃活動を春、秋の年に2回実施することにより、快適な生活環境を確保する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①73.25t	H30年度目標	H30実績	目標達成済	参加人数の増加を図るため、市民への周知の方法について、よりわかりやすくなるよう、ポスター、チラシ、ホームページの改善を行う。また、実施日についても地区行事と重ならないよう柔軟に対応するなど検討する。							
	期間	S57年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②50,948人	R元年度目標								評価者	
		9,218千円	0.00人		48039		生活環境課長 岸 徳夫								
生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	環境推進員は、市の環境政策と連携した活動として、ゴミ減量・リサイクル・地域での環境美化活動などを推進しており、概ね期待する活動実績を残しているため。	H30年度に改善した点	有	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	12,880千円	12,547千円	①委嘱人数 ②事業参加延べ人数	環境推進員1人あたりの活動回数	環境推進員それぞれが2ヶ月に1度程度の活動を行うと期待したもの	市民フェスティバルで、環境啓発のティッシュを配布する活動を行った。							
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	①委嘱人数							H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析
	所沢市環境推進員設置要綱	12,819千円	12,547千円	②事業参加延べ人数	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	環境推進員活動促進事業	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合				実績			H30年度目標			H30実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
	ごみ減量・リサイクル・および地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する意識を高め、理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を作る。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①1,121人	H30年度目標	H30実績	環境などをテーマにし開催する講演会の会場が、ミュージアムから所沢まちづくりセンターになったことによる参加人数の制限を設けたことで、参加者が減ったため。	各地区独自の活動をすすめるよう、情報共有を行うとともに、環境美化の日、歩きタバコ等防止啓発キャンペーン、環境講演会などの全地区対象の事業の参加者の増加に努める必要がある。							
	期間	H8年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②6,394人	R元年度目標								評価者	
		8,631千円	0.00人		6回		生活環境課長 岸 徳夫								